

えびの

ボランティア
センターだより

第20号

2022年3月20日



フードドライブ



フードドライブ係(谷山沙羅さん、大牟田亜彩音さん)より一言!!

今回、私たちが収穫したジャガイモを「田の神さあの贈りもの」として、こども宅食さんへ提供させていただきました。ひとりでも多くの子どもたちに届いてくれると嬉しいです。今後もフードドライブを行い、地域を支援していけるように頑張りたいと思います(^^)♪



ご自宅に、お米や食材の余りがありましたら、社会福祉協議会までご連絡ください。



発行/社会福祉法人 えびの市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒889-4221 宮崎県えびの市大字栗下 67

TEL0984-35-2800 FAX0984-35-1983



こども宅食「田の神さあの贈りもの」



生活にゆとりのない子育て世帯に対して、月に1回、お米と食料を配布しています。米とほとんどの食材は寄付によるものです。お米、野菜、卵、その他食材を提供いただいた方をご紹介します。ご支援大変感謝いたします。(R4年11月～令和5年2月)

米	福留様、鶴永様、有島様、源照寺様、今村様、他匿名様
食料	道の駅出荷者様、丸正フーズ様、e-pork 様、立久井様、杉水流様、JA 野菜倶楽部様、稲田様、飯野高校生、伊地知様、本坊農園様、高鍋信用金庫、他匿名様
卵	東康夫養鶏場様、東養鶏場様、大平落養鶏場様
菓子・小物等	浜田歯科様、県外企業様、あさひの里、ふれあいさろん「元気」、他匿名様
寄付金	さつき会、田中様、他匿名様



飯野高校生活文化科2年生が学校内にジャガイモを植え、こども宅食に寄贈して下さいました。

表紙) 遠目塚寿香さんの紹介!! 飯野高校生活文化科2年生

「ジャガイモを3年生の先輩方から受け継ぎ収穫を行いました。

ジャガイモを傷つけないように注意しながらで大変でしたが、皆で初めての収穫を楽しみました。楽しさや大変さを学びました。これからも続けていけたらと思います。



えびの出身で現在他県にお住いの方が還暦厄払いの節目に、こども宅食利用のこども達へクリスマスチョコレートをいただきました。

思いがけないプレゼントに、こども達も大喜びでした!(^^)!



こども宅食「田の神さあの贈りもの」について、詳しくはホームページをご覧ください



こども食堂「カレーの日」



令和4年度は、月に1回、こども食堂「カレーの日」を実施しました。コロナ下で今年度は、配達型を中心に、会場受け取りも含めて、月平均140食程度をボランティアさん方に作っていただきました。

配達を行った児童クラブでは、仕事のため土曜日お弁当を持たせて通わせている保護者の方々が、月1回、お弁当作りをお休みできるということで喜んでいただきました。子どもたちもカレーの日を楽しみにしているとのこと。会場では、住民の方々からは寄付で集まった野菜なども配布させていただき、大変喜んでいただいています。

次年度は、会場型の再開に向けて、多世代の方が楽しく集まることができるように計画していきたいと思っております。案内の際は、ぜひ、会場までお越しください!



子育て応援に関する情報はLINEでも発信しておりますので、是非友だち追加登録をお願いします



暮らしねっと推進モデル事業

令和4年度暮らしねっと推進モデル事業にて、中上江自治会に、高齢者生活支援ボランティア「孫の手クラブ」が発足しました。令和4年6月より自治会の有志が集まり、毎月定例会を重ねながら、12月26日結成式が行われました。同日、高齢者宅の庭の清掃や届く範囲の庭木の剪定等が行われました。



**中上江自治会では、「できる人が、できる時に、できる事を」モットーに、
高齢者等のちょっとした困り事の解決に向けて、孫の手クラブが動き出します!!**

★孫の手クラブの由来～孫の手のように、かゆいところに手が届くような活動になるように。

代表の池田様より一言!

12月にクラブを立上げたが、今の課題は困り事があると聞く反面、手助けしてほしいと手を挙げる人が少ないこと。九州人は他人に頼り慣れていないせいなのか?まずは、ちょっとした困り事でも気軽に相談できる関係づくりを目指していきたい。



えびの市社会福祉協議会では、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、住民のちょっとした困り事に対して、住民同士で助け合う仕組みづくりを推進しています。今年2月、市内1200人の地区役員の方やボランティア活動を行っている方、行政職員等を対象に、助け合い活動についてのアンケート調査を実施しました。その結果をもとに、次年度、さらに推進強化していく計画です。平常時の助け合い活動が、いざという時の絆につながります。そして、数十年後、必ず、自分たちに降りかかってきます。地域に貢献する活動は、心の豊かさに繋がります。さらに健康寿命を延ばすことに繋がります。

「できる人が、できる時に、できる事を」、
そして、「できるうちに」頑張りましょう!

自治会で助け合いの仕組みづくりを考えてみたい地区は、出前講座等を行いますので、社会福祉協議会までお声かけください。



『加久藤地区ふれあい女性学級』

学級長 桑畑 千鶴子

ボランティア団体紹介

加久藤地区ふれあい女性学級では、毎月1回学習会を行っています。
生涯学習や料理教室のほか、老人施設への慰問活動など楽しく活動しています。

(主な活動)

- 生涯学習 ○料理教室 ○老人施設の草取り
- 老人施設への慰問 ○ゴキブリ団子作り
- 焼き肉のタレ作り ○視察研修 など

会員募集中です! 一緒に楽しみませんか?



収集ボランティア活動報告

令和4年5月～11月までに224キロ(約123,200個)のエコキャップが集まりました。集まったエコキャップはリサイクル業者を通じて「世界の子供にワクチンを日本委員会」へ寄付させていただきました。この寄付金で約33人分のポリオワクチンを購入する事が出来るそうです。ワクチンは開発途上国の子どもたちに贈られ、子どもたちの未来を守る活動に役立てられます。



ご協力ありがとうございます

「歳末たすけあい」街頭募金活動

令和4年12月11日、「道の駅えびの」にて、飯野高校生13名が街頭募金活動を行いました。「募金のご協力お願いします!」大きな声で呼びかけ59,820円の募金を集めていただきました。集まった募金は、地域活動の財源の一部として大切に活用されています。募金活動にご協力いただいた高校生の皆さん、ありがとうございました。



視覚障がい者の介助ボランティア

ボランティア「やまびこ・朗読会」の皆さんに、介助ボランティアとしてお手伝いをいただきました。介助は初めての方ばかりでしたが、障がい者の方から「左側に立ってください」「肘を貸してください」などの言葉に耳を傾けながら上手に介助して下さいました。ご協力ありがとうございました。



LINE 公式アカウントはじめました



友だち追加方法
1

【友だち追加】>【QRコード】よりQRコードを読み取る。



友だち追加方法
2

【友だち追加】>【ID検索】より @518itloh と入力。



ボランティアセンターからの情報をお届けします。是非ご登録ください!

えびの市ボランティアセンター (えびの市社会福祉協議会)

電話 35-2800
FAX 35-1983